

碩心

社団法人 日本詩吟学院 岳風会 認可
神奈川 碩心 会 発行

10年 7月現在 会員数
逗子地区 135名
葉山地区 204名
大船地区 31名
合計 370名

10年 7月 (312号)
発行 者 関
千編 葉 集 者 麗
白井 岳 岳

行事予定

○横須賀第二地区吟道大会

日時・9月6日(日)

会場・はまゆう会館

○神奈川地区吟道大会

日時・9月20日(日)

会場・横須賀文化会館

○碩心会秋季審査会

日時・9月23日(祝)

会場・逗子市立図書館ホール

○全国優秀吟者神奈川地区予選会

日時・9月27日(日)

会場・平塚農業会館

○神奈川県青年吟道大会

日時・10月25日(日)

会場・カンダ パンセホール

吟題・生田に宿す

吟者・中村豊風、岡本優風、水留横山

○高齢者の表彰

平成10年度全国大会(北海道)に於て

根岸岳静 長柄支部

総伝 明治41年生 90才

平成10年度碩心会総会議事録

日時・平成10年5月31日(日)午後1時

会場・逗子市社会教育会館3階講座室

松井正岳総務部長の司会で、先ず千葉岳閣

副会長の開会の辞は「本日の総会は議題が多

くあるが皆さんのご協力のもと、短時間に審

議し、無事に終了することを願っている」。

次に加藤岳相会長から「ご多用の中、多数の

ご出席をいただき厚くお礼を申し上げます。

何卒盛り沢山の議案の円滑なる進行とご協力

を願いたい」と挨拶があった。規約により加

藤岳相会長が議長をつとめ、書記に宇都宮得

岳総務部副部長を任命。

議事は9年度の行事報告。10年度の予定等

について審議された。各理事から今後のこと

につき要請も出された。

加藤岳相副会長より、碩心会会則及び昇段

位資格審議委員会規定につき詳細に説明があ

った後、満場の拍手を得て賛成された。

続いて新役員について発表、紹介がされた。

(決算書は別紙に掲載)

○神奈川地区吟道大会についてお知らせ
9月20日の横須賀文化会館に於ける吟題が
次のように決定しました。

男性「偶成」 伊藤博文
女性「自訟」 杉浦重剛

新会長のもと正副部長会議開かる

本年6月21日(日)18時より逗子市図書館講座
室において、表記会議が行なわれた。

本日の会議は初顔合せと、副部長の業務理
解に重点をおき、新会長が会の拡大について
の抱負と、方針指示。また各部への要望など
も示され、出席者からも種々意見が出された。
しかし、本日の会議は打合せ的なことでも
あり一切の事項の決定推進は後日の常任理事
会から始めるということ了承された。

従来論議された役員の問題の有無に
は終止符が打たれた。

役員には、高年齢層が多いところであるが
各自会のために許された時間を、その発展に
捧げるということで、和を中心に更に活
動することを誓い合った、誠に貴重な会合で
あった。

青春とは若者だけのものじゃない

加藤 岳 洵

昨年の十月、職場でのセミナーで、小杉道
雄先生（NHK教育TV、お母さんの勉強室な
どの出演講師等で活躍）の講演を聴く機会が
あった。演題は「青春とは、若者だけのもの
じゃない」としてその話の中で、私達の吟詠
で馴染の、サミュエル、ウルマン作『青春の
詩』を引用されたのである。「青春とは、人生
のある時期を指すのではなく、心のあり方を
指すものだ。すなわち、強い意志と、豊かな
想像力、激しい情熱、おじけをよせつけず進
む力、やすきにつくよりも冒険に挑む、こう
した心のあり方を青春というのである！」
（以下略）生あるかぎり、常に若々しい心構
えで前向きに歩いていこうと、生き方の話を
された。

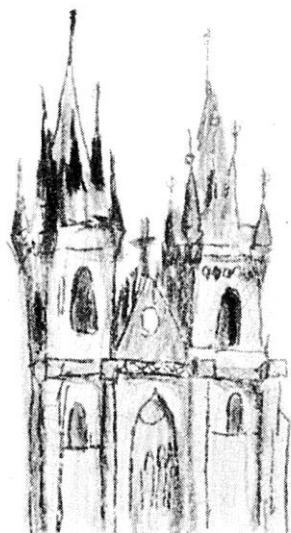
また一休禪師の残した、生き方についての
戯れ歌も紹介された「父母に、呼ばれてこの
世の、客になり、用がすんだら、はいさよう
なら」自分の意志を超えた意志でこの世に呼
ばれた。一過の客にすぎない。そして宇宙の

大きなリズムの中でやがてこの世から消えて
いく、と一休さんは言っているという。

この世に生をうけ、客として何をやらなけ
ればならないのだろうか。この一休禪師の
戯れ歌と青春の詩は、共に人生をいかに生く
べきかを示すものとして私の胸の中に響いた
ことを今も覚えている。私の職場生活も、い
よいよこの七月末日で任期が満了となり退任
することとなった。これまでの人生を振り返
り、青春の詩が求めるような納得のゆく生き
方ができたであろうか。自問しているこの頃
である。これからも、新鮮な感動を求めると
め、好奇心を失なわず、たえず新しい学習に
挑みたいと思う。

新たな生き甲斐を持つて、自分が社会でま
だ必要とされているんだ、と言う実感を自分
の肌で感じる事が出来るよう心がけたい。

プラハ（ティーン教会）



許証部長を拜命して

上村 象 岳

前任者中村岳郵先生の後をついで、引き受けてしまい、大変な役を引き受けたことに気が付いたのが、後の祭り、引継ぎの際中村先生の一気に申し送りに、まさに、後退りしたくなる、そんな感じでした。

中村先生が前月号で、がらんとした机の周辺を見て、感慨にふけて居られた光景が、目に浮かぶようです。

これだけの仕事を二十数年に渡り、続けてこられた事を思うに付け、これからのことが思いやられます。

今まで当然に思われたことが実はその陰に大変な、努力がなされていた事をつくづく思い知らされました。

これからは、何かと皆様にご迷惑をお掛けすると思いますが、どうか、皆様のご協力を得まして、許証部の仕事を遂行して行きたいと考えております。

副部長、加藤芳岳、根岸啓岳共々、よろしくお願い申し上げます。

企画部をよろしく

内山 俊 岳

この度、企画部を担当することになりました。会社勤めの現役の身としては、企画部長の様な役は時間的に無理があるのでは、というのが正直なところ、です。

しかし長い間、碩心会でお世話になっており、又400名近くの大所帯である碩心会の運営については、会長はじめ一部の役員の方に大変な負担がかかっていることも承知しておりますので、あまり我儘も言えないと思いき葉岳関新会長のおすすめに従い引き受けた次第です。そこで副部長には、行動力のある強力な人をとということで、田中明岳氏と、星野輝岳さんをお願い致しました。

企画部の仕事としては、温習会や初吟会等各種行事の事前準備と当日の分担業務がありますが、三人でよく連携をとり、与えられた役割を果たしていきたいと思えます。

各行事の進め方については、しっかりした前例がありますから、それを尊重しつつ、少しでも多くの会員の方の希望、ご意見を反映させていけたらありがたいと思えます。

プログラム編成や初吟会の立案等企画部の仕事について、一緒に手伝って下さる方があれば大歓迎です。

多くの人に計画段階から参加していただくことにより、新しい案も出ることが期待され、楽しいのではないかといい気もします。

いずれに致しましても、今後とも会長、副会長のご支援は勿論、上村前企画部長のご援助をお願いし、ご挨拶と致します。

第二十回碩心会吟道温習会

7月5日(日)逗子図書館ホールにて第20回碩心会吟道温習会が行われました。当日の合吟コンクールの結果は次の通りです。

- 一位 野 A 村井知子、安田好子、中山俊江
中村豊子、菊地君子
- 二位 龍 C 森はるみ、菊池早苗、星野輝子
青木ケサノ、小金美智子
- 三位 勲 F 矢嶋時子、大坪克子、鈴木美佐子
池田敏子、守屋悦子
- 四位 龍 A 佐藤由紀子、嶋津幸子、服部きく
高橋之子、福本モト
- 五位 勲 E 西岡節子、根岸啓子、飛田與子
長谷川末子、有馬昌子

チエコ友好公演の旅

大船A 岩崎 岳 恵

去る6月4日鎌倉詩吟舞踊連盟の17名は、公演先のチエコへと旅立った。パリ迄12時間、乗り替えて約2時間程で到着した。

5日プラハ城の聖ピート教会を見学、ステンドグラスの美しさに目を見張った。

6日愈々クラロベの市長を訪問。鎌倉市長のメッセージ並に基金を贈呈し、乾杯の後、記念撮影して解散。夜は、フェスティバルに参加。華道吟、悲恋毬漢の歌を公演し拍手が続いた。

7日エルニーニョ現象で真夏の暑さの中、ホテルで和服に着替えバスで劇場へ、会場のセッティングを手伝う松井正岳先生も片手に水のポットを持ち汗だくだった。やがて7時「祝賀の詩」に初まり「江南の春」「名槍日本号」華道吟の詩舞を上演する。場内のアンコールに応じて、サクラ、富士山、武田節を合吟し、好評裡に幕を閉じた。

残りの3日間は、オペラ座、宮殿、庭園等を見学し、7泊9日の旅を終わりました。

述懐の詩(癸丑)について

中村 岳 愛

四段受審を迎える生徒さんのために、偶々課題の、頼山陽作の「述懐」を自分なりに勉強。そして吟題の(癸丑の歳偶作)とあるをみて、今までさりげなく見過ごしてきましたが、参考書を見ましたら、本題は(癸中の歳偶作)で、「述懐」は、胸に抱く感慨を述べるの意味で、後人がつけたものでした。

頼山陽は七才の時から、叔父頼杏坪について詩を勉強、この述懐の詩を父春水に贈り、この詩により、天下に名を知らしめました。わたしは(癸丑)なる言葉を厝をひらいて

みましたので参考までに書いてみました。

○十干	甲 <small>きのえ</small>	乙 <small>きのと</small>	丙 <small>ひのえ</small>	丁 <small>ひのと</small>
	戊 <small>つらのえ</small>	己 <small>つらのと</small>	庚 <small>かひのえ</small>	辛 <small>かひのと</small>
	壬 <small>みずのえ</small>	癸 <small>みずのと</small>		
○十二支	子 <small>ね</small>	丑 <small>うし</small>	寅 <small>とら</small>	卯 <small>う</small>
	辰 <small>たう</small>	巳 <small>み</small>	午 <small>ま</small>	未 <small>ひつじ</small>
	申 <small>さる</small>	酉 <small>とり</small>	戌 <small>いぬ</small>	亥 <small>い</small>
○えと	右の(十干)と(十二支)の組合せによってつくられ、六十干支が成立したものの			

教務部よりお知らせ

今回千葉岳関会長のお考えにより、7月28日(火)は指導者の定期講習会を懇談会に変更し、指導者のご意見、ご希望をお聞かせいただき、今後の講習内容等の方向付けにいたします。欠席の方は7月20日までに教務部へお知らせ下さい。

連絡先 杉山岳雪 ☎〇四六八七五〇八〇九

立澤御岳 ☎〇四六六二〇四九〇

水上昌岳 ☎〇四六八七三三二七

(入会)

494 宗 環 返子市久木八十一一六

(若葉) ☎〇四六八一七二一〇三二八

495 荒井喜代子 葉山町長柄四五八

(長柄) ☎〇四六八一七五一〇四四六

(退会)

471 佐々木和子(幸和)

編集後記

7月の温習会、夏季講座と続いた行事も無事終了。さてお忙がしい中、快よく原稿をお寄せ下さいましたお陰で、今回の月報もまとまりました。梅雨が明ければ夏本番。これからの厳しい夏を元気で乗り切りましょう。

広報部